

## 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

### 1. 学校概要

学校名 新潟県新潟市立宮浦中学校（※正式名称を記載）

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫※注 1

☒ 中学校 ☐ 中高一貫※注 2 ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒950-0088

新潟県新潟市中央区万代5丁目6番1号

E-mail j307miyaura@city-niigata.ed.jp

Website www.niigata-miyaura-j.city-niigata.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子 232 名 女子 218 名 合計 450 名

幼児・児童・生徒の年齢 13 歳～15 歳

### 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

### 3. 活動内容

#### （1）活動の概要

私たちは新潟県中越地震（2004 年）、新潟県中越沖地震（2007 年）、東北地方太平洋沖地震（2011 年）と自然災害を経験し、エネルギーや環境、防災、そして、人と人とのかわりについて考えることが、これまで以上に求められている。また、世界には戦争や内戦、テロ、貧困、人権、福祉、環境、国際理解の問題をはじめ、様々な課題も山積している。

これらの課題について、多様性を尊重する価値観を持ちながら、生徒自らが考え、他者と共生、協働できるよう、「持続可能な発展のための教育」を推進していかなければならない。

当校は、平成 25 年 7 月 2 日に「ユネスコスクール」の指定を受け、これを契機に ESD 教育を進めるために、次のように教育課程に位置づけた。

- （1）全教育課程を通じて行う従来の各種教育（①国際理解教育 ②情報教育 ③環境教育 ④防災教育 ⑤安全教育 ⑥人権・同和教育 ⑦キャリア教育）を ESD 教育と関連づけ、「持続可能な発展のための教育」として推進する。
- （2）各教科において、その特性をいかしながら年間指導教育計画に位置づけ、ESD 教育を推進する。
- （3）特別活動では、生徒会の「観光ガイド委員会」によるボランティア活動や「万代太鼓委員会」の地域演奏活動をはじめ、生徒会専門委員会による地域貢献活動を、ESD 教育の柱とする。

当校のESD教育の柱をなしているのが、「万代太鼓委員会」と「観光ガイド委員会」である。これらの委員会は、学校に存在する他の委員会とは異なり、人数制限がなく他の委員会に所属していても、本人の意志のもとに自由に参加し、活動することができる。また、学校内での活動に留まらず、地域との関わりがとても深く、「地域貢献」を重視した委員会となり、生徒の大部分は、他の委員会や部活動とかけ持ちをして大変ではあるが、高い意識をもって参加し頑張っている。

この2つの委員会は、定期的に練習を重ね、「演奏」（万代太鼓）と「語り」（観光ガイド）の技術の向上を図り、多くの方々と関わりをもちながら披露し、感動を届けている。

① 「万代太鼓委員会」の活動について

- ・週に2回練習を行っている。
- ・「新潟まつり」をはじめ、いろいろな各種イベント、行事に出演して演奏している。

② 「観光ガイド委員会」の活動について

- ・「おもてなしの心をもってガイドをし、人との接し方・関わり方・社会性を身に付ける」を活動目標に、朱鷺メッセや新潟日報メディアシップの展望室での観光ガイドを行ってきた。
- ・観光ガイドの内容充実を図るために、夏休み中の5日間、市内の名所や旧跡をまわり研修を深めた。



① 万代太鼓委員会の活動風景



② 観光ガイド委員会の活動風景

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ・新潟市ホームページ
- ・人権パンフレット「人権ってなんだろう」、「同和問題知ってますか」
- ・「生きるⅣ」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

・各教科の年間指導教育計画の中で、ESD 教育に関する単元を明確にし、指導の重点化を図った。

例) 総合・・・1年：宮浦地域学習（防災学習）

2年：新潟地域学習（地域を知る）

3年：関西地域学習（伝統文化、世界遺産を知る）

理科・・・1年：身の回りの物質、変動する大陸

2年：天気とその変化

3年：運動とエネルギー、生命のつながり、生物と環境

自然・科学技術と人間、化学変化とイオン

技術・・・2年：エネルギー変換に関する技術を考えよう

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

・年度はじめに、ESD 教育について全体の計画を担当者から説明する。

・ESD 教育にかかわる校内分掌を作成し、互いに連携をはかる。

分掌名) ①国際理解教育 ②情報教育・ネットモラル ③環境教育

④防災・安全教育⑤人権・同和教育 ⑥道徳教育 ⑦キャリア教育の7つに分けている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

・年2回「学校評価」を実施し、職員各自の取り組みの様子を数値化して評価し、前期と後期を比較しながら変容を分析した。

そこからわかることは、ESD 教育への取り組み数値がまだまだ低いことである。教職員の ESD 教育への関心を高める工夫が必要である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

・活動の成果は、当校の活動の柱としている「万代太鼓委員会」「観光ガイド委員会」の意欲的な活動が、地域貢献につながっていることである。活動の様子は、「学校だより」「PTA だより」「生徒会新聞 (MSK 新聞)」により発信している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成 (地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など) (200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

・総合で実施している「宮浦地域学習 (防災学習)」「(1 年)」「新潟地域学習」では、地域のいろいろな企業、団体、公共事業所から、協力していただきながら実施している。  
・「万代太鼓委員会」「観光ガイド委員会」の活動にともない、育成協議会など、地域の諸団体との連携は深い。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成 (200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

・国内のユネスコスクールとの交流は現在なく、ネットワークも形成されていない状態である。これからの課題である。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

- ・特に宮浦中学校の地域貢献として、「万代太鼓（演奏）」と「観光ガイド（地域紹介）」である。地域の方々からも認知された活動となっている。中学校と地域を結ぶ大切な活動であり、良き伝統として継承していきたい。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400 字程度）

- ・各教科での年間教育指導計画の中で、ESD 教育に関する単元を明確にし、教科担当者が授業実践をしていく。  
特に、総合の中では1年生では「宮浦地域学習（防災学習）」、2年生では、「新潟地域学習（歴史分野、産業分野、観光分野、福祉分野、伝統分野）」、3年生では、「関西地域学習（新潟との比較を通して）」を ESD 教育として位置づけ実践していく。  
なお、来年2019年は「新潟港開港150周年」を迎える年にあたる。それに伴い、2年生の「新潟地域学習」では、歴史分野、産業分野、観光分野の中で、新潟港と関わりを持たせながら学習を行っていききたい。
- ・道徳教育の教科化に伴い、ESD 教育との関わりを明確にして授業実践していく。
- ・当校の ESD 教育の柱となっている「万代太鼓委員会」「観光ガイド委員会」の活動も、来年の「新潟港開港150周年」に向けて、各種イベントが多くなると考えられ、万代太鼓の披露、観光客数の増加に伴う観光ガイド活動を積極的に行い、地域貢献を行っていききたい。また、その活動の様子を各種媒体を用いながら情報発信していききたい。
- ・生徒会と連携しながら、10月に「いじめ見逃し0スクール」を実施する。学級討議、全校集会を開き、人権問題を考える場面設定を行っていききたい。
- ・人権・同和問題に対して、期間を設けて、資料「生きるⅣ」活用した授業実践を必ず行っていききたい。